

ロックス
日本人收容所
知事局発刊
四月二十二日
本曜日
第二〇四号

米國戰時捕虜に極刑

大統領は二年前東京空襲の際捕虜となつた米國飛行士三名中日米軍法廷に送られ、刑宣告と共に死刑となつた旨を、事務所を通じて正式通牒と接受したと發表し、日本軍部のこの非文明的処刑は他日、の詳報ある時待つて十分に糾明すべし、凡そ米國ならんや世界の文明國人は等しく日本の捕虜待遇法を變的行爲と呼ぶことと躊躇しないであらうと批難した。米美齡も亦この日本軍部の殘虐行は人道的犯罪に非ずして何ぞと聯合國一員として抗議的意見表示した。

國際通信社報道は右八人共同罪なるも大部分は処刑を猶豫され居り尚二人は行衛不明となつてゐるが、爆撃機三台を乗組員であるを報じた。

國防長官視察團一行

エルパンを不時訪問
昨朝十二時三十分米國防長官スチムソン

陸相一行は陸軍機にてビッグス飛行場に不時訪問した飛行機から第一番に踏み出して陸相その日、粉粧はグレーハットに赤黒、甚縞のネギタイ褐色の洋服、藍色のシャツ着用、ブリグス城岩司令官スチムソン少將第十六空軍司令官ウイリヤムス旅團長及びビッグス飛行場司令官ビル中佐の歓迎裡に一行の紹介了り五分間後にスイフトの自動車にてエルパン市廳に入陸相の一行中ライト少將、クレップス中佐、ホーン中尉、ミラー伍長外、ペイドー及びソリヤン伍長が隨行した。

大統領御用車帰米

コーパスクリスチ市大賑は、モントレ、史的米皇西大統領の令見するや特別大統領御用車は墨國大統領夫妻を同伴して昨日のコーパスクリスチ市を祭日化した。出迎へる米國海軍士官候補生百三十名を前にして喜色満面の大統領朗らかなる訓辭あり、米國大統領前日、握手は米國更實に一光彩を加へたものとして諸士一代、記憶すべき日であること述べた。墨國大統領一行はこれにて帰國する苦である。

一日十五回、空襲

キスカ島空襲は強烈と極め、國際通信社に依れば昨朝十五回、空襲を試みた。

ト言ふ又ソモン群島よりニューギニア方面まで散在する日本基地十所に対してマクサー空軍が日課的爆撃したか皆その戦果は不明である。

重光外務の登場

と独露の動き、同盟通信の傳へる所では日本の内閣諸大臣は今回四五名の特職、或は更迭が行はれた目下東條總理大臣は空席を兼任してゐる。此中で軍部の後援による國粹黨の谷外務大臣が引退して重光外務大臣の登場となつた。重光外務大臣は駐英大使として倫敦在任中日義米間に貢献した人で従つて米國に多數の友人がある。今回の谷重光西大臣の更迭は東條總理の特任に谷を引退させ、重光を押し立てた裏面に大芝居が仕組まれてゐる。その小は且つて重光は駐露大使としてスターリン並にモロトフ外務本部長とも親交の間柄であつた。此際重光外務大臣に起用し、独露問題と平和握手と目論んで居ることに注意されるものがある。

毒ガス使用問題

獨軍が對露戰にて毒ガス使用せし疑あり、聯合軍側も報復對策すべしと英首相邱登表

脱兎の勢

(倉内風景)

今朝八時官營農園を訪ふ。夜明の貿易、凡ヒタリと屈いて初夏気分百パーセント油蟬の音が聞こへないだけ陽火はや農園内、にめりくくとまろ騰る。

十人計リホーと手にして敵を作る真桑瓜の種を下ろす水を引き、静中動姿美し。用水道を音なき流る、も涼しい。と見ると、則ち兎二頭飛出た。四圍兎除けの金網張り詰めた中に何うして心か入つた兎、その捕北と十余人多寡を繰り、孫のついで、陣形を採る。我軍に油断があつた。兎の奴用水に飛び込んだ見ると、ハツツとわらわら等、散らばり、後足の砂見、手水門を登り、抜け一目散。正しく脱兎を親、柵外に兵式教練中の米兵約一中隊、我等の包圍を快よ気に打ち眺めて、日本人の包圍にも尚ほ逃げ路は有るといつた。風情、脱兎の一篇かく如し。

故岸枝夫人追悼會

カカロフの南弥右衛門氏長男殊太郎氏、岸枝夫人はヒラセナイにてある、病氣、為死去した。来る十五日(日)午後七時、上り十二中隊食堂にて追悼會を執行する。司會者は安部俊喜氏、導師は吉住浩巖氏である。

